



KIDS

センター

Cafe



防災

2024.10 NO.7

～子どもの命を守るために①～

子どもがいる家庭の災害時の避難は、大人が一人で避難する場合と比較して、約3倍の労力が必要と言われています。

突然やってくる災害からどのようにして自分と子どもたちを守るべきなのでしょう。

子連れ避難の注意点

① 自身の身の安全を確保する

→ 大人が無事であれば、その後子どもとともに避難することも困難になってしまう

② おんぶが一番安全

→ 一人で歩くことができる子どもでもおんぶすることが、子連れで避難する際は安全と言われています。がれきなどが飛び散っていたり、冠水くんだりしており、災害後の外の道は、大変危険です。

歩かせない場合でも靴は履せておいた方が安心です。一人で歩ける子どもでも決して手を離さないことが大切です。

③ 帰宅支援ステーションを活用する

→ 外出先で災害に巻き込まれ、交通機関が使用できない場合は、「帰宅支援ステーション」を目指すことも一つの手段です。帰宅支援ステーションは、水道水、トイレの使用、地図やラジオ等からの道路情報のサービスを提供してくれます。困った時は、「帰宅支援ステーション」のステッカーを頼りにしてみましょう。普段通る道にステッカーのある施設がないか、お子さんと探しておくのもよいですね。帰宅支援ステーションはコンビニやレストランに多いです。

帰宅支援ステーションのステッカー

